

科目区分	専門分野Ⅱ	授業科目	母性看護学概論
講師名	宮本 末子・三家本 八千代	実務経験の有無	有
単位数（時間）	1 単位（30 時間）	開講年次	2 年次 第 1 学期
目的：1. 母性看護の概念について理解する。 2. 母子保健の意義と看護の役割について理解する 目標：1. 母性看護の概念と看護の対象が理解できる 2. 母性保健の意義と看護の役割が理解できる 3. 妊娠、産褥、新生児の正常を理解できる			
講義概要 メッセージ	母性看護学の基盤となる概念を学びます。母性看護の対象を身体的・心理社会的に捉え、さらにはライフサイクル、社会保障、母子関係からも幅広い視点で考えます。		
回	講 義 内 容		
1	1. 母性看護の基盤となる概念 1) リプロダクティブヘルス／ライツ 2) セクシャリティ 3) 家族と発達課題 4) セルフケア		
2	2. 母性看護の対象理解 1) 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化(女性生殖器で既習) 2) 女性のライフサイクル家族 3) マタニティサイクルと発達課題 4) 母性看護の対象を取り巻く環境 5) 女性の性周期		
3～4	3. 女性のライフサイクル各期における身体的特徴と心理・社会的特徴 1) 思春期 3) 更年期 2) 成熟期（マタニティサイクルは保健） 4) 老年期 4. 女性のライフサイクル各期の健康問題		
5	5. リプロダクティブヘルスケア 1) 家族計画 2) 性感染症とその予防 3) 喫煙と女性の健康 4) 国際化社会と看護		
6	6. 母性看護に必要な看護理論 ①家族のシステム理論 ②母親役割理論（ルービンの理論） ③家族理論 ④愛着理論		
6 回終了後	1 時間（45 分）：終了試験		
7	7. 母性看護における倫理（DVD）		
8～9	1. 母子保健統計 母子保健に関する制度、関係法規 2. 母性看護を取り巻く環境		
10～12	3. マタニティサイクル(妊娠期・分娩期・産褥期) 1) 妊娠・分娩・産褥期に伴う心身の変化 4. 新生児の特徴(形態的・機能的)(小児看護学概論の想起) 1) 胎外生活適応と生理的变化		
13～14	5. 母性看護に必要な看護技術 1) ウエルネス志向における考え方と看護過程		
15	1 時間（45 分）：終了試験		
講義方法	講義、DVD		
評価方法	概論+保健/2 100%		
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [1] 母性看護学概論 (財) 厚生統計協会 国民衛生の動向		
備考	関連科目：小児看護学概論(新生児の身体的特徴)、母性援助論Ⅰ、Ⅱ		